

発刊にあたって

現行の学習指導要領（小中学校では平成 29 年 3 月、高等学校・特別支援学校では平成 30 年 3 月告示）では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、各学校においては、教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現を目指すことが求められています。

本県においては、令和 2 年 3 月に策定された「しまね教育魅力化ビジョン」に基づき、「教育の魅力化」に向け、学校・家庭・地域・行政が連携し、一体となって本県教育を進めています。

島根県教育センターにおいては、「学び続ける教職員の育成と校内 OJT を支援する教育センター」をブランドデザインに掲げ、教育課題に対応した研修内容の検討、研修指導者の育成、校内授業研究の活性化のための支援、出前講座・要請訪問の積極的な実施など、教育庁各課や教育事務所との連携を図りながら業務を行っています。

さらに、学校教育活動の活性化に役立ち、今日的な教育課題の解決の一助となることを目指し、調査・研究活動に取り組んでいます。この研究紀要には、令和 4 年度調査・研究事業から 6 本の研究成果を収録しております。本年度は 6 本すべての研究がまとめの最終年次となりました。これらの内容が、各校の教育実践の参考となり、児童生徒や地域の実態に応じた学校づくりや学級づくり、教職員一人一人の資質能力の向上を目指す研修や研究活動に活用され、新しい時代に求められている学校教育の改善・充実につながることを切に願っています。

最後に、研究を進めるにあたり、ご支援ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和 5 年 3 月

島根県教育センター 所長
島根県教育センター浜田教育センター 長
村 本 愛 治

【研究紀要】

R4-1 「若手教職員を育成する校内サポート体制づくり」を支える 教育センターとしての関わり (3 年次 / 3 年)	島根県教育センター 企画・研修スタッフ共同研究
R4-2 児童生徒とのつながりを大切にする学校のための 効果的な ICT 利活用に向けた取組 (2 年次 / 2 年)	島根県教育センター 研究・情報スタッフ共同研究
R4-3 生徒指導の実践力向上を目指して ～生徒指導にかかわる校内研修プログラムの開発を通して～ (2 年次 / 2 年)	島根県教育センター 教育相談スタッフ 相談セクション共同研究
R4-4 特別支援学級の授業づくりを支える教育センターにおける支援の 在り方 (2 年次 / 2 年)	島根県教育センター 教育相談スタッフ 特別支援教育セクション共同研究
R4-5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する一考察 (2 年次 / 2 年)	島根県教育センター浜田教育センター 研究・研修スタッフ共同研究
R4-6 学校現場を支える教育センターの役割 ～オンラインを活用したコンサルテーション～ (1 年次 / 1 年)	島根県教育センター浜田教育センター 教育相談スタッフ共同研究